
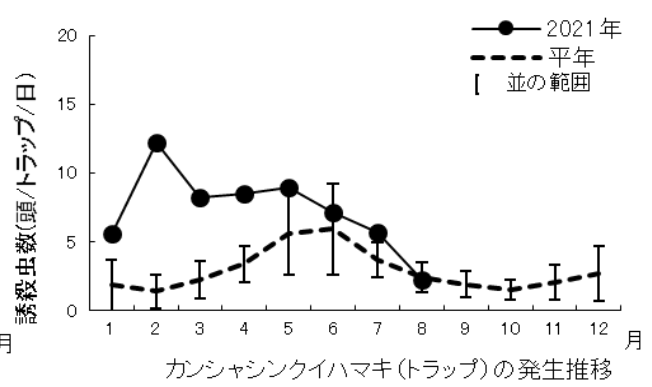
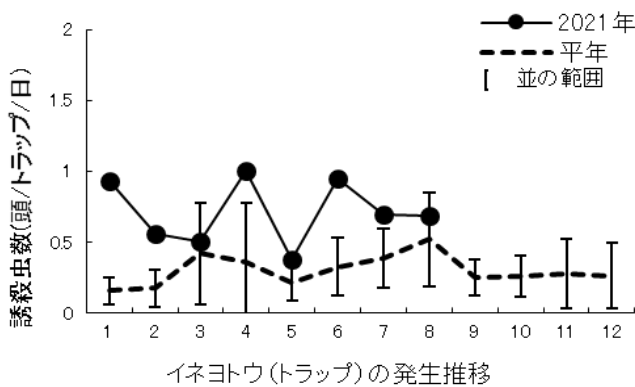


作物	さとうきび	地域	沖縄本島
病害虫名	メイチュウ類(カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)		
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報	8 月からの増減傾向	—	
		9 月の発生量 (平年比)	—

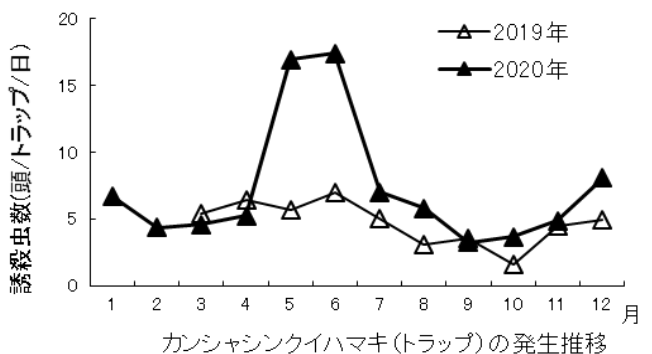
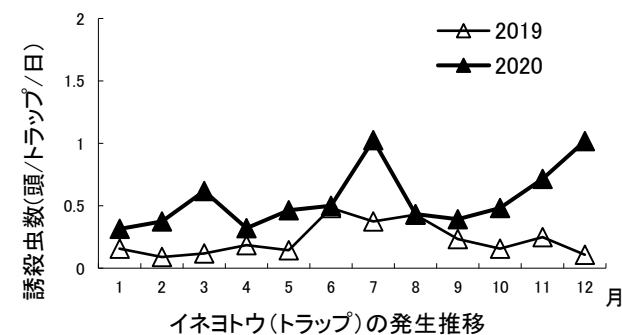
予報の根拠

調査結果

今期と平年の推移



過去 2 年の推移



・病害虫防除員報告：多発生(久米島町)

防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。